

2019
春号

千の声 VOICE NO.4

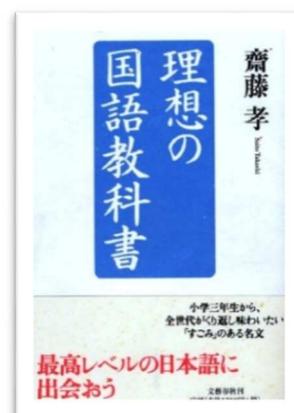
石川塾での使用テキスト(齋藤孝の本その3)

「国語力向上の最大の秘訣は、早い時期により日本語に出逢うことです」石川塾では、将来を切り開く力、自ら学習する力を身につけるため、幼少期より言葉の学習に力を入れています。暗記力・ノート力・作文力・計算力を身につけるためには正しい日本語を操る力が必要です。全学年共通で取り組んでいる朗読暗唱、速音読、漢字の読み書き、漢検、4年生からは中学受験生向けに国語力強化、要旨要約、古典など良い日本語に出逢えるよう学習していきます。石川塾で使用しているテキストを抜粋し紹介していきたいと思ひます。

□齋藤孝「理想の国語の教科書」 文藝春秋

目次

はしがき 8	藤原てい『流れる星は生きている』 白い十字 191
【一学期】	ネルー『父が子に語る世界歴史』 誕生日を祝う手紙 206
夏目漱石『夢十夜』 14	志賀直哉『清兵衛と瓢箪』 217
シェイクスピア『マクベス』 第一幕 第七場 23	棟方志功『板極道』 幼少年時代 230
小林秀雄『人形』 32	『ゴッホの手紙』(弟テオ宛) 238
蒲 松齡『聊齋志異』 蛇人 37	ラッセル『幸福論』 退屈と興奮 246
坂口安吾『風と光と二十の私と』 47	【三学期】
ラブレ『ガルガンチュウ物語』 ガルガンチュウの幼年時代 57	森 鷗外『杯』 256
菊池 寛『勝負事』 63	G・ガルシア＝マルケス『百年の孤独』 267
トルストイ『人にはどれほどの土地があるか』 76	福沢諭吉『福翁自伝』 塾生の勉強 273
中島 敦『名人伝』 86	宮本常一『家郷の訓』 父親の躰 278
ブルフィンチ『ギリシア・ローマ神話』 ミダス王 96	野口英世の母・シカの手紙 285
太宰 治『走れメロス』 105	ロマン・ロラン『ペートル・ヴェンの生涯』 292
【二学期】	『レオナルド・ダ・ヴィンチの手記』 科学論 300
宮沢賢治『学者アラムハラの見た着物』 128	バスカル『パンセ』 304
モーツァルトの手紙 (小林秀雄『モーツァルト』より) 139	ゲーテ『ファウスト』 悲劇 第一部 書齋 308
幸田 文『あなた』 146	おわりに一声に出して読む理想の国語教科書 317
ヘレン・ケラー『私の生涯』 サリバン先生 154	あとがき 330
新美南吉『疣』 165	出典一覧 332



□齋藤孝「理想の国語の教科書 赤版」 文藝春秋

はしがき 6	和辻哲郎『土下座』 178
【一学期】	『猿飛佐助』 立川文庫 187
セルバンテス『ドン・キホーテ』 14	パール・バック『聖書物語 旧約聖書』 ノアと洪水 196
夏目漱石『坊ちゃん』 28	有島武郎『小きき者へ』 210
シェイクスピア『ハムレット』 第一幕 第五場 41	ウラジーミル・アルセーニエフ『デルスー・ウザーラ』 アンバ(虎) 222
内田百閒『稲荷』 51	ドストエフスキー『罪と罰』 234
サン＝テグジュペリ『人間の土地』 64	【三学期】
古今亭志ん生『火焰太鼓』 78	バルザック『知られざる傑作』 252
スタインベック『ハツカネズミと人間』 96	二葉亭四迷『平凡』 264
宮沢賢治『なめとこ山の熊』 105	シヨウペンハウエル『思索』 275
編・広島テレビ放送『いしぶみ(碑)』	下村湖人『論語物語』 伯牛疾あり 281
一広島二中一年生全滅の記録』 118	プラトーン『饗宴』 293
【二学期】	エッカーマン『ゲーテとの対話』 308
ユーゴー『レ・ミゼラブル』 128	あとがき 320
芥川龍之介『鼻』 144	出典一覧 324
マーク・トウェイン『マーク・トウェイン自伝』催眠術の謎と 母の謎 160	



□ 要旨要約「理想の国語の教科書 青版・赤版」が終了したら・・・

上級編の下記二冊に取り組みます。これも終了したらもう要旨要約に指導は必要なくなることでしょ。中学受験・高校受験・大学受験対策と読解力を磨きコミュニケーション力を高めることができるので社会人の方にも身につけて頂きたい技です。

有名な文学作品ばかりですので、全部読むのは自信が無いけど・・・という方にもおすすめです。

大事な部分・面白い部分が齋藤孝さんにより既にピックアップされていますので、その範囲でさらに大事な部分・面白い部分を探していけばよいのです。

<さらにステップアップ①>



使える!「徒然草」
齋藤孝
PHP 新書

<更にステップアップ②>



理想の国語の教科書
決定版
齋藤孝
文藝春秋

<低学年向け>



嵐の中の灯台
家庭読本編集会
明成社

目次

序『徒然草』の使い方

上達論として読み解く 3
ある一瞬の心の流れを書きとめる 6

第一章 上達の秘訣

やりたいことはすぐ取り掛かる【第百五十五段】

時期を選ばずトライしてみる 23
自分で期限を決めてやりきってしまう 26
後戻りしないところまでやってしまう 28
やりきった後には現実が変わる 29

真似ることの上達する【第百八十五段】

素直さがなければ学べない 35
型から入る 36
天才力を身につける 38

人前に出て、技は磨かれる【第百五十段】

無駄な恥じらいを捨てる 45
上達するためには、笑われても恥じない 47
恥ずかしさが吹切れる授業の方法 51
緊張をほぐすために身体を揺すってみる 53
自分の得意分野を持って 第百九十三段
自分の領分でないことについて是非を言わない 57
自分より高いものと比べる 59
三十代までに自分のツボを持つ 61
チームプレーの強みを発揮できる 62
自分の境界を広げる 64

勝とうと思ふな、負けないようにしろ【第百十段】

博才とは大勝ちする才能ではない 66
負けを計算できる 68

勝っているときは、やり方を変えない 70

下支えをつくっておく 74

集中力を高める【第九十二段】

「後がない」ところに追い込むことで集中できる 79

時間を細かく区切ることで集中力を高める 82

「出来る人」ほど「おそれ」を知る【第百八十五段】【第百八十六段】

達人は恐れを持ち続ける 87
「恐れ」や「迷い」も二種類ある 89
チェックポイントを明確にする 91
恐れがある人ほど大成する 95

一点を突破する【第百二十七段】

何でも変えればいいものではない 98
アレンジで済むかどうかを考える 101
変えるポイントはささやかな一点に求める 102
「蟻の一穴主義」でいけ 105

第二章 生きるのが楽になる知恵（以下表題のみ）

三人の先達を持つ【第五十二段】

勝手な行動が許されてしまう人【第六十段】

眼力をつける【第百九十四段】

ネーミングと存在感【第四十五段】

しったかぶりをしない【第七十九段】

肝心なことは先延ばしにしない【第百八十八段】

第三章 人生を深く味わう極意

大欲と無欲は同じ【第二百十七段】

孤独を技にして、自らを深める【第七十五段】

余韻を残す心遣い【第三十二段】

いやな気分を整理する方法【第十一一段】

あとがき

□ 石川塾流！ ももいろ・みずいろ・きみどりの三色いろえんぴつで読む技！



石川塾で実践している三色いろえんぴつ法は、齋藤孝さんの「三色ボールペンで読む日本語」を参考に、石川塾長が塾で取り入れている方法です。要旨要約の本を読みながら一番大事だと思ふところに桃色、大事なところに水色、面白いと思うところに黄緑の線を引きます。この線引きは、初めて取り組むときにはあれもこれもと線を引いてしまいがちですが、数をこなしていくうちに…要旨要約の力がついてきたら…必要箇所にしっかり線を引けるようになります。間違っていないのです…。だからあえて…石川塾では色鉛筆を使います。読み返したときに消したいところは消して…色を変えたいときにはやっぱり消して引き直します。そうやって見つけた大事な部分を次に「～する系」または「～なる系」の一文にまとめます。その作業のあと、大事な部分を 200 字で抜き出します。これを 1 冊全編行います。10 ページに塾生の要旨要約を掲載してあります。

久美堂本店へ注文購入した本(2017 秋)・・・貸し出しています

原節子の真実/石井妙子/新潮社
 孤独のすすめ/五木寛之/中公新社
 広辞苑はなぜ生まれたか/新村恭/世界思想社
 モンゴル帝国誕生/白石典之/講談社
 幕末武士の京都グルメ日記/山村竜也/幻冬舎新書
 女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと
 西原理恵子/角川書店
 さんねんないきもの事典/今泉忠明/高橋書店
 続・さんねんないきもの事典/今泉忠明/高橋書店
 ころろ彩る、徒然草/木村耕一/一万年堂出版
 その調理、9割栄養捨ててます!/東京慈恵会医科大学
 附属病院/栄養部/世界文化社
 詳説 世界の漢字音/大野敏明/慧文社
 すごい古書店 変な図書館/井上理津子/祥伝社新書
 だいぶつさまのうんどうかい/菊田澄子/中川 学/アリス館
 スイーツ駅伝/二宮由紀子/文溪堂
 受験脳の作り方/池谷裕二/新潮文庫
 進化しすぎた脳/池谷裕二/講談社
 単純な脳、複雑な「私」/池谷裕二/講談社
 のうだま①～②/上大岡トメ/池谷裕二/幻冬庫文庫
 風から水へ ある小出版社の三十五年/鈴木宏/論創社
 満州の土建王/榊谷仙次郎/岡田和裕/潮書房光人社
 蔵書一代紀/田順一郎/松籟社
 脳はこんなに悩ましい/池谷裕二/中村うさぎ/新潮文庫
 日本人へ①～④/塩野七生/文春新書
 海馬/池谷裕二/糸井重里/新潮文庫
 ひとは情熱がなければ生きていけない/浅田次郎/講談社
 戦争と平和/百田尚樹/新潮新書
 山頭火意外伝/井上智重/熊本日新聞社
 月たった2万円のふたりごはん/奥田けい/幻冬舎
 世界を見た幕巨たち/榎本秋/洋泉社
 こいしいたべもの/森下典子/文春文庫
 パパは脳研究者/池谷裕二/クレヨンハウス
 そっと無理して、生きてみる/高橋幸枝/小学館

あかにんじゃ/穂村弘/岩崎書店
 絶叫委員会/穂村弘/ちくま文庫
 モンテーニュの書齋「エッセー」を読む/保苺瑞穂/講談社
 モンテーニュ/保苺瑞穂/講談社
 キッパリ!/上大岡トメ/幻冬舎文庫
 ふくもの幸せお届けします/上大岡トメ/幻冬舎文庫
 ホワイトハウスのピアニスト/ナイジェル・クリフ/白水社
 幻の黒船カレーを追い/水野仁輔/小学館
 琥珀の夢(上・下)/伊集院静/集英社
 医者が教える食事術/牧田善二/ダイヤモンド社
 温泉手帳/松田忠徳/東京書籍
 せつない動物図鑑/服部京子/ダイヤモンド社
 こわいもの知らずの病理学講座/仲野徹/晶文社
 みかづき/森絵都/集英社
 パパは脳研究者/池谷裕二/クレヨンハウス
 名誉と恍惚/松浦寿輝/新潮社
 ビーおばさんとおでかけ/作:ダイアナ・ウィン・
 ジョーンズ/訳:野口絵美/徳間書店
 人情馬鹿物語/川口松太郎/論創社
 受験脳の作り方/池谷裕二/新潮社
 石川啄木/著:ドナルド・キーン/訳:角地幸男/新潮社
 脳はこんなに悩ましい/池谷裕二/中村うさぎ/新潮文庫
 脳はなにかと言いつつ/池谷裕二/新潮文庫
 私という病/中村うさぎ/新潮文庫
 面積迷路/スピード編/村上綾一/学研
 ユージン・スミス写真集/著・写真:ユージン・スミス
 クレヴィス
 守教(上・下)/帚木蓬生/新潮社
 ありがとうトワイライトエクスプレス
 /かねづかまこと/金の星社
 百円の男/ダイソー矢野博文//大下英治/さくら舎
 生きて還る/小林信也/集英社
 木漏れ日に泳ぐ魚/恩田陸/文春文庫
 神坐す山の物語/浅田次郎/双葉文庫

■塾長おススメの本

高峰秀子(たかみね・ひでこ)の本・・・母が愛した一番の女優

『わたしの渡世日記(上・下)』新潮文庫・・・世を潔く渡って行った感動の書です

武田百合子(たけだ・ゆりこ)の本・・・父の育った東京の匂いがする女(ひと)

『富士日記(上・下)』中公文庫・・・気取らなさ瑞々しさ珍しい人です(夫・泰淳)

川上弘美(かわかみ・ひろみ)の本・・・彼女のウソッ話・物語ダイスキです

『東京日記3 ナマズの幸運。』平凡社・・・(前述二つとは違う)こんな日記もある

『七夜物語(上・中・下)』朝日文庫・・・善と悪の子どもたちの長編大冒険物語!

堀文子(ほり・ふみこ)の本・・・若き日の自画像に妻が衝撃を受けた画家

堀文子画文集『命といふもの 第1集』サイブックス/小学館・・・“命”を描く画家今年2019年100歳で逝ってしまった

塩野七生(しおの・ななみ)の本・・・ワクワクしながら読み進むと古代ギリシア・ローマが目の前に浮かび上がってくる

『海の都の物語 ～ヴェネツィア共和国の一千年～(上・下)』中公文庫・・・ヴェネツィア共和国の国作り国滅び物語

竹内久美子(たけうち・くみこ)の本・・・そういうアプローチありか!目からウロコもんがいっぱい

『パラサイト日本人論 ～ウイルスがつくった日本のところ～』文春文庫・・・日本人起源の物語

青柳いつみこ(あおやぎ・いつみこ)の本・・・世界一流の演奏家のリサイタルに足を運ぶようになった

『翼のはえた指 ～評伝安川加壽子～』中公文庫・・・安川加壽子のCDは何度聴いてもいい本もいい

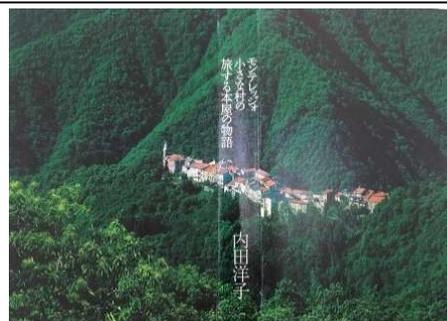
堀川恵子(ほりかわ・けいこ)の本・・・新潮ドキュメント賞/講談社/大宅壮一ノンフィクション賞の3賞受賞

『裁かれた命 ～死刑囚から届いた手紙～』新潮文庫・・・死刑制度について見直す(再掲 No.2に掲載)

内田洋子(うちだ・ようこ)の本・・・行くならイタリア/食べるならイタリア/住むならイタリア・・・

『ジノの家』文春文庫・・・日本エッセイスト・クラブ賞/講談社エッセイ賞を史上初のダブル受賞した傑作

『モンテレージョ 小さな村の旅する本屋の物語』方丈社・・・イタリア、トスカナの山深い村から本を担いで旅に出た人たちがいた・・・短い文章の連続に読み慣れるまで少々息苦しいがふんだんに掲載されている美しい写真に一息つける



子ども・お母さんたちが借りて読んでいる本 (2018年1月～2018年6月)

2018年1月

齋藤孝のガツンと一発シリーズ3 そんな友だちなら、いなくたっていいじゃないか!

齋藤孝のガツンと一発シリーズ4 頭がよくなる必殺! 読書術

頭のいい子に育てるために3歳から15歳 のあいだに今すぐ絶対やるべきこと マチネの終わりに

あなたと読む恋の歌百首

七福神の大阪ツアー

雪の花

花渡る海

北天の星 上・下

月に吠える 萩原朔太郎詩集

2018年2月

あおいめ くろいめ ちゃいろのめ

いちねんせい

おしりたんてい やみよにきえるきょじん②

おしりたんてい ふめつのせつとうだん③

おしりたんてい かいとう VS たんてい④

りゆうがあります

天才ドリル

世界の友だち オーストラリア

昆虫世界のサバイバル1

昆虫世界のサバイバル3

砂漠のサバイバル

洞窟のサバイバル

海のサバイバル

アマゾンのサバイバル

百人一首

合格パズル①

合格パズル②

のうだま1 やる気の秘密

キッパリ! たった5分間で自分を変える方法

齋藤孝のガツンと一発シリーズ3 そんな友だちなら、いなくたっていいじゃないか!

生命① まんがNHK スペシャル 40億年 はるかな旅

follow me ふゆのきつね
ふおん・しいほととの娘 (上)
ふおん・しいほととの娘 (下)
受験脳の作り方

少年H

解剖教室へようこそ

2018年3月

ウォーリーをさがせ

ウォーリーのふしぎなたび

タイムトラベラー ウォーリーをおえ!

わるいことがしたい!

ピーターのやまのぼり

ことばのべんきょう

公文式の漢字カード (第1集)

講談社の動く図鑑 MOVE 魚

講談社の動く図鑑 MOVE 宇宙

ドラえもん すらすら作文が書ける

アンデルセン童話

恐竜世界のサバイバル

南極のサバイバル

鳥のサバイバル①

アマゾンのサバイバル

ロボット世界のサバイバル①

ロボット世界のサバイバル②

ロボット世界のサバイバル③

洞窟のサバイバル

ビーおばさんとおでかけ

どろぼうがっこう ぜんいんだつごく

どろぼうがっこう だいうんどうかい

だいぶつさまのうんどうかい

作文ダイキライ 清水義範のほめほめ作文道場

血の味

東大合格生のノートはかならず美しい

スッキリ!

テロルの決算

みかずき

スイーツ駅伝

2018年4月

フランスはどう少子化を克服したか

動的平衡 生命はなぜそこに宿るのか

子供の貧困が日本を滅ぼす

パラサイト日本人論 ウイルスがつかつた日本のこころ

裁かれた命

きょうりゅう世界のサバイバル2

あおくび大根

ホテルの光はなぞだらけ

だれでもできる ホテル復活大作戦

楽しみながら1分で脳を鍛える速音読

織田信長

2018年5月

マンガ日本の古典3 2 怪談

理想の国語教科書

おしりたんてい いせきからのSOS

ピーター=パン

おしりたんてい かいとう VS たんてい

分数・小数がミルミルわかる本

洞くつのサバイバル

伸びる 子どものからだのつくり方

バンビ

おしりたんてい ふめつのせつとうだん

鳥のサバイバル1

おしりたんてい あやうし たんていじむしょ

海のサバイバル

2018年6月

おしりたんてい ふめつのせつとうだん

なまけてなんかない!

だいぶつさまのうんどうかい

りゆうがあります

おしりたんてい あやうし たんていじむしょ

自然史ミュージアムのサバイバル1

バッハ: チェンバロ協奏曲全集1

トン・コープマン CD1・2

昆虫世界のサバイバル1

新型ウイルスのサバイバル1

ロボット世界のサバイバル2

りゆうがあります

ピノキオ

なんにかわるかな

少年H

あかにんじや

砂漠のサバイバル

『世界のともだち フィンランド』04

“フィンランド 雪と森の国のカオリ”

写真・文 松岡 一哲 / 偕成社

世界のともだちシリーズの第4弾です。フィンランドの首都ヘルシンキの郊外にあるラスティラという町。海と森に囲まれた美しいこの町に8歳のカオリは住んでいます。カオリのおじいちゃんは44年前に日本からフィンランドへやってきた日本人です。旅行中に親切で人懐っこいフィンランド人に興味を持ち、そのまま暮らすようになりました。おじいちゃんとおばあちゃんには子供が5人います。長男がカオリのお父さんです。全員がヘルシンキに住んでいるので、よくお互いの家に遊びに行ってみなで集まります。

フィンランドの冬は太陽が出ている時期がとても短いので、朝はまだ真っ暗です。スキーウェアのような服とスノーブーツで登校し、暖房完備の校内では薄着で過ごします。学校では個性が大切にされていて、授業中に集中して勉強したいと思えば、音が聞こえなくなるヘッドホンを付けて勉強することもできます。

フィンランドの夏はとても短く、本当に暑い時期は3週間位しかありません。夏になると家族で無人島へ遊びに行きます。白夜もあり、カオリは太陽と月が同時に出る中、キャンプをしたこともあるそうです。豊かな自然と大切な家族に囲まれて、笑顔いっぱい成長していくカオリの笑顔が満載です。



アンとアナのものがたり(成長日記)

☆アン:読書、お菓子作り、妖精が大好きな小学校1年生

【アセット児童英検2級合格!!】

9月・1月と英検4級に向け単語や熟語の勉強、過去問と毎日取り組みました。が、長文読解で難航…。長文のシチュエーションが分からないのです。レストランのフードメニューやメールのやり取り…。実体験が無い。いくら口で説明しても、イメージが湧いてこない。同じ問題を解かせたら正解できるけれど、似たような違う問題は分からない。そして、読解は疲れます。一題解いたらもう気力は保てません。練習なら、一日一題でいいのですが…本番は、3題の長文読解が必要です。本番、一題目は全問正解。2題目1問正解。3題目正解なし。問題用紙をみても、明らかに後の2題は適当に解いている。結果は…不合格。しかし、少しでも解けたという感覚はあったようで、次の6月の英検に向け早速取り組んでいます。回を重ねるごとに確実に読解能力は上がっているようです。12月に受けたアセット児童英検は英検と同じような文法内容だったので、何度か過去問を解いて合格することが出来ました。いよいよ2年生。英検4級、漢検9級、算数検定9級を目標に頑張るそうです。

☆アナ:天真爛漫、迷路、パズル、運動が大好きな4歳年少さん

【ツルを折る】

12月で4歳になったアナは、急に言葉の理解が早くなってきました。自分でひらがなカードをめくって読んだりテキストに載っているひらがなを読み上げたり。鏡文字は相変わらずですが、書けるひらがなも増えてきました。最近「あ」のつくことばなど「ことばあつめ」を好んで一生懸命考えています。折り紙にも夢中。以前は難しいものはすぐに諦めていたのが、隣で一緒に折って折り方を教えれば最後まで折れるようになりました。つい先日ツルを折ったのにはびっくりしました。そして切り絵にもハマっています。ガイドとなる絵は私が描きますが、ハサミは自分でなんとかやり遂げます。出来上がった作品はいつも幼稚園に持って行きみんなの前で発表しているようです。次は年中さん。どんな成長をするか楽しみです。

アンが読んでいる本

『野口英世』

文：早野美智代 絵：脚次郎 監修：公益財団法人野口英世記念会
学研プラス

『チャーリーとチョコレート工場の秘密』

原作：ドワード・ダール 絵：クエンティン・ブレイク
訳：柳瀬尚紀 評論社

『魔法の庭の宝石のたまご』

作：あんびるやすこ ポプラ社

アナに読んでいる本(アナが読んで欲しいもの)

『へんしんトンネル』

作：あきやまただし 金の星社

『こんとあき』

作：林明子 福音館書店

『わすれもの』

作：豊福まきこ BL出版

☆パパ日記 新幹線

妻が友人の結婚式出席のため九州へ行く関係で子ども二人を静岡の実家へ預けることになった。金曜の夕方に小田原駅で妻から子どもを引き取った。静岡までは50分くらい、飽きたとき用のお菓子をゲットしてホームで到着を待った。新幹線が到着して冷や汗、「ヤバイ、混んでいる・・・」。そうだった、金曜は静岡県から単身赴任をしている方々が帰るからこどもが混むと聞いたことがある。余裕で自由席に座れると思っていたが完全に計算外。盆か正月のような混雑状況でデッキに立って出発した。景色も見えずこれでは早々からお菓子を投入せざるを得ない状況である。お菓子がなくなった頃に次の駅に到着、「座りたいよ～」との声に車内へ進むと空席発見！しかも離れているが2席空いている。よしと思いつつ座るように促すと次女が痛恨の一言「姉と隣じゃないといや～」。出ました、やはりこちらの思惑通りには行きません。ほぼ満員の車内で説得を試みるが次女は聞く耳を持たない。どうしようと困っていると見かねたであろう方が席を移動して下さり「どうぞ」の一言。申し訳ないがお言葉に甘えさせて頂いた。子ども二人は座ることができてそれからは何事もなく静岡駅へ到着した。

周囲の人の優しさがとても有難く自分も違う場所で誰かにお返しをしようと思った。

からだをつくる・やすめる ～読書をしながら・・・ボールストレッチ～

今話題の180度開脚。スポーツでケガをしないために…骨盤周りの筋肉をほぐして骨盤矯正…。いざ開脚してみると、90度が精一杯…。無理な開脚トレーニングをして足腰を痛めることも。まずは、手軽なストレッチから。ボールをストレッチしたい部分に当てて自分の体重を使ってストレッチをするのでとても簡単。今回はおしりのストレッチ。我が家の長女は、ストレッチしながら本を読んでいます。ボールストレッチをしたら、開脚してみる。それをくりかえすだけで開脚がスムーズにいくかも…。開脚できない原因も様々なのでこれだけで180度は難しいかもしれませんが、簡単で気持ちいいストレッチ是非お試しください。

- ① 大殿筋の起始部。テニスボールを当てたら、仰向けのまま20～30秒寝転がる。慣れたら少し揺れる。
- ② 大殿筋の停止部。テニスボールを当てたら、仰向けのまま股関節を開いて20～30秒寝転がる。慣れたら揺れる。
- ③ 中殿筋。真横に寝転がり、お尻の横側にボールを当てる。痛ければ肘をついた状態で。慣れてきたら肘をのばして寝転がる。20～30秒。慣れてきたら揺れる。



<<千の声 VOICE>>

□私立小学校受験へのステップ⑤ ～言語力を高めるコミュニケーションとしりとり遊び～

◆絵本の読み聞かせや色々な体験を通して、確実に語彙は増えていきます。語彙を増やすことと同時に大事にしていたのがアウトプットです。親子のコミュニケーションでは「あれをしまって」「こっちにおいて」など「こそあど言葉」を使わないようにし、「リカちゃん人形が出したままになっているから、リカちゃんBOXに戻してね」「お味噌汁はご飯の右側においてね」と何をどのようにするのか、省略せずにつたえるように心がけました。そして、娘が「水！」など「単語会話」で話してきたときには、「水がなあに？」と必ず聞き返し、「水をください」ときちんと言えるように教えてきました。赤ちゃんの時から「クック」「ブーブ」などの幼児語は使わず接してきたのでその点はあまり心配はいりませんでした。この取り組みを始めて、最初のうちは「どういうこと？」と聞き返すことが多く会話が少しくどいように感じましたが、娘も次第に「こそあど言葉」は通じない、「単語会話」も聞き返されると、学習し、聞き返すことが少なくなっていました。



◆言葉のアウトプットとして受験を決めてから受験が終わるまで、娘とよく「しりとり遊び」もしました。車の中や、ご飯の準備をしているとき、幼稚園や習い事の行き帰り…毎日毎日飽きもせず…負けず嫌いの娘なので、私に勝つために「動物図鑑」「乗り物図鑑」「季節の図鑑」「昆虫図鑑」…いろいろ引っ張り出して「あ」の付く名詞メモ…「い」の付く名詞メモ…といった具合に一緒に「しりとりメモ」(写真やイラスト付き)をつくったりもしました。少し難しい(一緒に調べたので知っているが…)名詞を娘が言ったときには、「どんなのだったかな～？」と意図的に質問して詳しい説明が出来るように導くようにしていました。これが娘のモチベーション維持に効果的で、得意顔で説明していました。普通のしりとりがある程度続きレベルアップして良さそうだと感じだし、「二文字しりとり」や「頭取り」などにもとりくみました。ペーパーの問題でしりとりがありますが、「しりとり遊び」を普段から遊びとして取り入れ、あくまでも楽しく…ただの勝ち負けだけ楽しむようにすることがペーパーの「しりとり」や、「同頭語」「同尾語」などを得意にしたのではないかと…私は思っています●リホさん(小1)のお母さんからのVOICE■

□休塾中の様子 ～久しぶりのお便りから～

◆石川先生こんにちは。まだまだ寒い日が続きますが、お元気でいらっしゃいますでしょうか。我が家は今年の冬、遼生のインフルエンザに始まり、私のインフルエンザ、娘の胃腸風邪、鼻風邪等体調不良続きでしたがようやく少し落ち着いてきました。遼生はインフルエンザから回復後は元気で、週末によく主人とスキーに出かけています。主人が大学時代に滑っていた仙台の方のグレンデにも1泊で男二人旅をしてきて、とても嬉しかったようです。

◆3月26日火曜日のワークショップにぜひ参加させて頂きたく、メールしました。午前中とのことなのですが、時間、持ち物、費用等詳細を教えて頂けたら幸いです。遼生は先月英検5級を受験して、リーディングが25問中24問、ヒアリングも25問中24問正解で合格することができました。本人は満点じゃなかったのが残念だった様子ですが…6月に4級合格を目指して頑張るそうです。漢検は1年に1級ずつのペースですが、8級受験の準備も始めました。遼生は先生にお会いできるのをとても楽しみにしています。

◆石川先生度々すみません。遼生が今学級閉鎖で家にいて…恥ずかしいけど報告してと言われたので(笑)3学期は学校のクラスから図工の時間に描いた絵を男女1名ずつの代表作品に選んでもらって町田市立小学校の合同作品展に飾ってもらいました。それから、学校の縄跳び大会で学年1位になったそうです。2重飛びが最高連続62回までいって、今は後ろ2重飛びも頑張って練習しています。またお話できるのを楽しみにしています

●リウセイ君(小2)のお母さんからのVOICE■

□苦手な国語…「中学入試国語問題」に取り組む④ ～ドイツから日本そして世界へ～

【国語学習の振り返り】

石川ゼミの門を叩いたのは、今から11か月ほど前の3月終わりのことだった。今思い返せば、あっという間の11か月。では、今から11か月後はというと…もう中学受験は終わっている。気が引き締まる思いだ。ちょうど受験までの折り返し地点、これまで力を入れてきた国語学習について少し振り返っておきたい。が、その前に、思い出話を一つ。今でも反省と共に思い出す、息子が小学3年生(当時、息子はハンブルグ日本人学校に通っていた。ドイツにある学校だったが、図書室の蔵書は充実していた。)だった夏休みの本にまつわる出来事がある。夏休みの宿題として読書感想文が出た。一人3冊、学校の図書室から好きな本を借りて感想文を書くのだが、息子が借りてきたのは、イラストたっぷりの児童書だった。それは当時の彼のお気に入りシリーズで、よく読んでいたことを私も知っている。親の私が読んで面白いのだから、彼が好んでそのシリーズを読みたがるのもよく分かる。だが、読書感想文の題材としては、どうもしっくりこなかった私は、何気なく「絵本みたいだね。もう3年生だから、もうちょっと小説みたいなものを借りてきたら？」と言った。それを聞いた途端、息子はワーンと声を上げて泣きながら、こう反論した。「この本だって面白い！絵がたくさんあって分かりやすい！小説は字ばかりで全く場面が想像できない！」。もちろんその児童書がいけないと言ったつもりは全くない。むしろ、学校の図書室に置いてある本なら、ジャンルは問わず何でも読んでみて欲しいと私自身も思っている。しかし、何気なく発した言葉に、まさかこんなに号泣するとは！？と、予想外の反応に私の方がびっくりしてしまった。息子にしてみれば、ワクワクドキドキしながらこのシリーズを読むのを楽しみにしているのに、それを母から否定されると受け取り強いショックを受けたに違いない。追い打ちをかけるように、「小説」という響きに、「小さい字がびっしりと並ぶ小難しい書物」を想像し、それを読むことを強いられていると感じて強い拒絶反応を示したのではないだろうか。大粒の涙を流しながら自分の主張を訴える息子を見て「ああ、彼なりの、本を選ぶ理由があるのだな。

<<千の声 VOICE>>

痛快なストーリーにワクワクし、イラストを見ながら色々な場面を想像しているのか。」と、はっと気がついた。後日、担任の先生との面談の際あるクラスメイトが語った息子の印象は「よく本を読んでいる」だったと聞いた。いつもは元気に学校の中庭で外遊びをしつつも時にはお気に入りのシリーズを図書室で借りてきて(またある時は学級文庫を)休憩時間に教室で読むこともあったそうだ。そんな息子の姿を知らない私は、クラスメイトの息子への印象に驚くとともに、益々、先の発言が悔やまれた。この一連の出来事は、今思い出しても、息子には申し訳なかったと、切ない気持ちになる。それ以来、**息子の借りてくる本への口出しはしていない**。さて、帰国してからの彼は読む物といえば、イラストたっぷりの児童書に加え、マンガとゲームの攻略本がメインになった。そんなこともあって、入塾当初、先生から頂いたリストをもとに、国語教材(理想の国語教科書青版・赤版・緑版、中学入試国語のルール、使える!徒然草、秘伝中学入試国語読解法)を揃えた私は、ちょっと怖気づいてしまった。どれも、息子が強く拒絶した、まさに「字ばかりの難解な書物」にしか見えない。**当時の私には、こんな難しい本を息子が読み解くことができるようになるとは、到底思えなかった**。しかし現在、「理想の国語教科書青版」の要旨要約を終了し、冬季講習で「中学入試国語のルール」を終え、今は、「使える!徒然草」の要約と「秘伝中学入試国語読解法」に着手している。本人の頑張りと言うまでもないが、石川先生の指導力は本当にお見事だ。**あんなに「字ばかり」の本を読むのを嫌がった息子に、いったいどんな魔法をかけたのだろう?**と不思議でならない。復路 11 か月も、石川ゼミで着実に実力をつけて欲しいと願うばかりだ。先日、ついに 4 級にも見事合格した!

【漢検】

これには本人も大喜び♪ただし、合格は終わりではなく次なる試練の始まりの合図だ。次のチャレンジは漢検 3 級と文章検定 4 級。さあ、新たな気持ちで頑張ろう! ●ソウシ君(小 5)のお母さんからの VOICE ■

口大手塾から石川塾へ ~中学受験で大切なこと①~

◆出会い…

我が家は、外で身体を動かして遊ぶことが大好きです。まだよちよち歩きの頃から背中におんぶをして、四季を楽しみに年に数回、高尾山に登ったりもしていました。

幼稚園に入園した頃から車移動が多くなり、時間に追われる日々が増えゆっくり時間を掛けて外の景色を見ながら歩くことなど出来ておらず、お友達のママに誘ってもらった遠足が最初の石川塾との出会いです。

その頃、長女(5 年生)の、進学や塾のことで少し悩んでいたこともあり、先生のお話を聞きたいと思う気持ちも大きかったと思います。鎌倉の街並みを歩きながらお話をさせて頂き、親子共に、先生にあっという間に性格をズバッと見抜かれ大手塾から少人数の受験塾に変えようと思っていたところに、先生から体験に来てみませんか、お声を掛けて頂いたあとは、入塾までに時間はかかりませんでした。



石川塾に入塾してから 2 か月。これからが本当に楽しみです。

◆娘の成長記…

石川塾に入塾して 2 か月…。娘の変化は直ぐに現れました。授業の中で、1 つのことが終わったら片付けをし、次に取り掛かる。当たり前なのですが、先生のところで学習を通して改めて教えて頂き、生活面でも自ら行動する姿がみられるようになりました。

親バカですが、素直で笑顔の時は、すごく可愛い我が子…。反面…5 年生…反抗期…衝突することも多々あります。何時間、勉強をしてくるかで、揉めながら送り出すことも…。ですが、先生のところへ行ったあとはまあ楽しそうに帰って来ること…! 娘自身、行く度に、出来るようになっていく実感があるのだろう、と、感じます。出来るように導いて頂き、褒めてもらえる喜び、先生からもたくさんの愛情を頂いているお陰で笑顔が増えているように思います。

宿題・自宅学習の取り組み…課題はたくさんあります。今は検定を、一つ一つ、丁寧に勉強し、取っていく! できない単元を克服し、苦手を無くす。まずは、そこから! ●リタさん(小 5)のお母さんからの VOICE ■

口都立高校入試英語/過去問 22 年度分に取り組む ~合格するまでの石川塾と僕~

◆僕が石川塾に行った一回目は遠い昔のこと。小学五年生の時、僕は公立中高一貫校受験のため勉強していました。していましたがと書く語弊があるので補足を。勉強をしなければ合格できませんでした。でも僕は勉強していませんでした。といった方がいいのでしょうか。通信教材を受講していたのですが、全くといっていいほど手を付けずほんとに公立中高一貫校に行きたいのか誰も分かりませんでした。勉強できないなら塾に行く? と聞かれ母に連れてってもらったのが石川塾だったのです。そして入塾。石川塾には妹も通っていました。その妹が塾をやめても僕はずっと通い、公立中高一貫校が不合格になっても通い続け、今に至るのです。ざっと僕のことを書いたので本題の高校受験対策について話していきます。

◆都立高校を受験するというのは決まっていたのでとりあえず過去問を解いてみることにしました。というより、石川先生に過去問を解こうと言われました。そして三年生の夏期講習。微妙に苦手意識のある**英語の過去問**を解こうということになりました。第一回目の平成 8 年度の得点はおよそ 55 点。僕の成績と、志望する学校のレベルからいうと、学科で平均 1 教科 80 点以上をとれば余裕を持って合格できるぐらい。他の 4 教科を 80 点取ったとしても英語がこれでは合格はかなり危うい状況に。このままではまずいと思い点数を下げる原因となっていた問題を見直してみました。特に点数を下げる原因となっていたのが、英作文と物語文読解。英作文は出されたお題に対して英語の文を 3 文書くというもの。配点は通常の問題 3 問分の 12 点(今はメールの内容を読み取ってその話題に合ったものを 3 文書く。というものになっている)物語文読解はそのまま字面通りの意味。配点は 4 点の選択問題が 4 問に、同じく 4 点の並び替えが一問。そして英語で質問された問いに対して英語の文で

<<千の声 VOICE>>

答える問題がそれぞれ4点で2問。(これも選択問題になっている)これらが点数を落とす原因になっていました。まずは英作文。僕は最初こんな英文を書いていた。何をしたいか。という趣旨の題材について。I want to read book. Because I like book. I'm going to read book today afternoon. (本が読みたいです。なぜなら、本が好きだからです。今日の午後に本を読むつもりです。という意味)と書いていました。なんと幼稚な文章でしょうか。とても簡単な文法と単語だけを使い、書けないのをごまかすかのように、なんとなく書いていました。当然いい評価ももらえるはずもなく。得点落としの原因の一つとなっていたのです。その後、他の年度を進めていく中で、授業で教わった新しい文法や、石川先生からの「問題文などに入っている語句や文法を使って書いてみる」という方法を試しながら過去問を解いていきました。そうすると少しずつ点数が上がっていき、平均して10点ほどとれるようになりました。中には満点の12点を取れたことも。これで英作文の点はとれるようになりました。後は物語文読解です。物語文は英作文に比べて比較的楽に点数が取れました。回数を重ねるごとに長文の読み方、読み取り方がわかってきたからです。先生から教えてもらった方法と一緒にいくつか書いてみます。「改行の最初の文は時間や場所を表していることが多く、選択問題で役立つので下線を引いておく」「訳の書いてある語句は意味を書いて丸で囲みわかりやすくしておく」「最初の2行は状況や登場人物紹介があるので必ず読んでおく」僕の方法なので参考程度に。これらのことを気にしながら長文を解いていきました。全問正解とはいかないものの5問中4問ほどは確実にとれるようになりました。そして、塾にある平成8年度から平成29年度までの過去問が終わったころには平均点はおよそ75点になり、80点には及ばなかったもののほかの教科で補える点数をとることができました。

◆二学期が始まり、石川塾では**数学の過去問**を解いていくことにしました。数学はもともと得意科目だったので難無く解いていくことができ、傾向もつかめ、点を上げていくことができました。解き進め方をまとめておきます。まずは普通に大問1を解いていく。次にほかの大問の(1)や(2)を解く。解けなければ飛ばす。そして証明を解きやすい方から解く。最後に解いていなかった問題を解き、解けなかったらほかの問題の見直しをする。残り10分になったら大問1をもう一度解いてみて答えの見直しをする。この方法で過去問を解いていき、間違えた個所の復習もすることで平均90点をとることができるようになりました。数学の後には国語に取り掛かりました。国語は英語ほどひどい点数ではありませんでしたが、80点とれるかどうかぎりぎりのところだったので、時間の許す限り過去問を解き進めていきました。**国語は200文字の作文**でどれだけ点数がとれるかで合計点が上下していたので、先生からのアドバイスを参考に書いていきました。その頃学校で推薦をもらうことができたので、推薦試験の練習も同時に家と学校で進めていました。希望した都立高校は推薦試験で無事合格することができ、同時に過去問を解き進めるのも終えましたが、高校への準備として中学校3年間の復習ができたので、過去問は無駄なことではなかったと思います●トウタ先生からの VOICE■

□国立大学合格への選択④ ~物理は単位を書き込む/図を描く…中学入試の算数と同じ…~

●物理の勉強法

物理学で大切なことは大きくは二つである。

一つは単位を理解すること。そして、必ず単位を書き込むこと。出来ない人の多くはこれを疎かにしている。二つ目は基本の3ステップをできるようにすること。これは高校物理の全ての範囲で当てはまる。

ステップ1: 図を描く

ステップ2: 図に力を書き込む

ステップ3: ステップ1、2を基に式を書く

以上3ステップができれば物理は難しくない。多くの人はステップ1、2ができない、もしくはやらずにできない。ちなみに、物理学で公式の丸暗記は意味がない。どうしてこうなるのかという意味を考えて覚える必要がある。それが、ステップ1、2、3でもある。また、暗記する量が多くないので大学受験に使うにはオススメ。

●化学の勉強法

高校化学は三つの分野に分かれている。

①理論化学(計算)

②無機化学(暗記)

③有機化学(構造)

まず、理論化学を徹底的に出来るようにする。

それと同時に無機化学を覚える。無機化学の暗記でつまづく人が多い。覚える量が多いので、上手に整理して覚えるための工夫をする必要がある。暗記に近道はないので自分なりの方法で試行錯誤して欲しい。私が暗記をする時に心掛けていたのは、いかに忘れないようにするかということだ。また、もし、よい参考書があればそれを使うのも一つの手である。もちろん、どの参考書を使っても覚える内容に変わりはない。

ちなみに、③有機化学が一番簡単である。覚えてしまえば、サービス問題のようでもある。なので、①理論化学と②無機化学をできるようにすることを優先するのがよい●トモミ先生からの VOICE■

□お知らせ:春号(10ページ)から2ページ増やし12ページにしました/石川塾生の要旨要約のページ/ミツキ先生のワークショップのページを設けました/いま石川塾では2歳のヒカルくんから大人のリョウカさんまで学んでいます
□齋藤孝「理想の国語教科書」を使った要旨要約は授業で教えています/希望者には体験学習でも教えています
□ただいま公立中高一貫校を志望する生徒を小学3年生から募集しています/神奈川県・東京都内の学校が対象
□本誌「千の声 VOICE」は久美堂書店の2階踊場ほかに置いてあります/設置希望の方は塾長まで御連絡ください
□問合せ連絡先/TEL:042-710-5768(石川塾長までいつでも御連絡ください)

□2019/1/20 JR 田浦駅～田浦梅林～乳頭山～森戸川源流下り～JR 逗子駅

◆女の子4人ティーパーティーでエネルギーチャージ

石川塾での2回目の遠足。とても楽しみにしていた2人は、前夜、楽しそうに旅の支度をしていました。「山登りだから、荷物は軽くなね!」の、声も女の子には届きません。どんなコースを歩くのだろう…と、胸を踊らせ、田浦駅から第1の目的地、田浦梅林(フィールドアスレチック)へ、出発。先生に30分程、アスレチックで遊ぶ時間を頂いたにも関わらず、お友達と4人、始まってしまいました…ティーパーティー…。これから、乳頭山の過酷な登山道が待っているなんて、その時は知りもせず、重い荷物の大半を占めているおやつでエネルギーチャージです。森戸川源流下りは、山登り初心者の私たちには、一步踏み違えたら崖に落ちてしまうのではないかと思う程…。足場を自分で見つけることが出来なかった、次女は、嘆くばかり…。それでも、先生の歩くペースは緩むことなく、ようやく林道合流点でお昼ご飯。この日は、お天気に恵まれたこともあってか、疲労感はありません、そこまで歩いて来た達成感なのか、ご飯がとても美味しく感じました。下山をし、コンクリートの上を歩く娘たちは、疲労困憊。そこから、もう一山…。乳頭山を越えた自信は、直ぐに娘2人の足取りに! 自分で足場を見つけ、手を借りることもなく、足取りは軽く、意気揚々と! 娘たちが、とても、愛おしく誇らしく思えました。最後まで歩き切ったご褒美のソフトクリームは格段に美味しかった! 疲れているのに、心は満たされている…不思議な感覚…。本当にいい経験です。「次もまた行きたい!」の言葉が何よりも娘達を大きくしてくれた証だと思います!

●セリさん(小1)リタさん(小5)のお母さんからの VOICE ■

◆「遠足いやだな」…～…～…「また次も参加する」

出発の朝まで「歩きたくないな。遠足いやだな」と、言っていた光太郎を連れて父子で参加しました。集合場所の田浦駅には、4家族が集合。少し先輩の男の子のK君がいて、光太郎もご機嫌。歩き始めて30分ちょっとで田浦梅の里に到着。景色の良い広場の先には本格的なアスレチックがあって、男子二人は早速トライ。女子達はレジャーシートを広げてお茶会を開始。広場の近くの、展望台からは横須賀の海も見てとても素晴らしい景色。30分ほど楽しんでからいよいよ山道へ。本日のコースでもっとも標高の高い、乳頭山の頂上へはすぐに到着し、この後は下り。途中から獣道のような所に入り、道なき道を降りて行きました。

ロープを伝って渡る難所も何か所あり、まさに自然の中のアスレチックという感じ。あれほど行きたがっていなかった光太郎も後半には、「また次も参加する」と言うほど楽しかったようです。翌日体の節々の痛みをこらえながら…会社の友人何人かに週末の遠足のことを話しました。「うちの子はそれ無理だわ!」と言う反応ばかり。“そうですよね。石川塾の遠足ハードですから”と心の声が賛同。でもなぜか、また行きたくなってしまうこの気持ち何なのでしょうか… ●コウタロウ君(小1)のお父さんからの VOICE ■

◆どの木よりも先に開花するという梅の木の前で…

お天気に恵まれ遠足日和の日でした。4人家族2組・父子と母子、石川先生の計13人で田浦駅を出発。出だしは田浦梅林公園のアスレチックで男の子2人はウォーミングアップ! 女の子4人はスナックタイムでエネルギーチャージ! 毎年、どの木よりも先に開花するという梅の木の前で集合写真を撮りトレッキングスタート! スタートからなかなかハードな道でした。男の子2人は先生の後ろにつき何の恐怖心もなくどんどん前進。女の子達は少し慎重に足場を確認しながら、手は掴める植物を探しながら一生懸命前に進んでいました。コースの途中ではリス達の声援が聞こえてきたり、リスが敵から逃げる時に落として行った尻尾が落ちていたり自然の力を感じることができました。リスの尻尾を見つけた子供達は尻尾を持って撫でてみたりと興味津々の様子でした。私は何となく触る気持ちになれなかったです。お昼を沢山食べて後半がスタート!! 朝は慎重だった女の子達も後半はスイスイと進んでいました。長い長い階段を上り疲れもピークになってきたため黙々とゴールの逗子駅を目指しました。無事に全員で逗子駅に到着し美味しいソフトクリームを食べ、子供も大人も疲れを少し忘れ遠足帰宅までの最後の休憩。達成感で満足した気分のなか食べるソフトクリームはより一層美味しく感じました! ●ケイタロウ君(小4)のお母さんからの VOICE ■

田浦梅の里



どの木よりも先に開花する



逗子でソフトアイスクリーム



<<石川塾の肝心要 ~要旨要約~>>

□石川塾の肝心要 ~自分で生きていくための要旨要約~

皆さん要旨要約はご存知ですか？要旨要約とはある作品をわかりやすく簡潔にまとめることです。物語の場合はもう少し複雑で言いたいことを含め少ない語数でどういった物語なのかも伝えなければいけません。この塾では授業の前に要旨要約をやります。ここでは 200 字でまとめます。まず全体を通してどういった物語なのか 20 字程度で書きます。そうして具体的に、またこの物語が伝えたかったことを 200 字で書くというものです。言われただけでは簡単そうに聞こえますが実際やってみるとすごく難しいです。初めは文章量が少なくなってしまう増やそうと思うと多すぎてしまいます。また何を伝えたいのか汲み取れなければまず要旨要約はできません。この塾では夏目漱石の夢十夜の第一夜が最初の題材です。この物語は男が死んだ女を 100 年待つ話とでもいみましょうか。すごく独特なお話で初めの題材としては難しいかもしれませんが。ただ慣れてくるととても面白いものになります。まず自分では手に取らないような本を読めてそれが知識に繋がりがそこから大切な部分を抜き出しそれが取捨選択の上達に繋がります。また本から学ぶことは沢山あります。例えば私がすごく考えさせられた題材は“人にはどれだけの土地がいるか”という物語です。自分が歩いた分だけ土地をもらえる、そのかわり夕暮れになるまでに歩き始めた場所に戻って来ることが条件というお話です。この物語では人の強欲さがわかりやすく描いてありとても読みやすく考えさせられるものになっています。沢山の本文を読み自分の考え方が変わることさえあります。すごく自分にとってプラスになるものでこの塾ならではの物語以外にも論文のようなものもあります。論文といってもそんなに堅苦しいものではなく私たちの生活をよりよくしてくれることが書いてある参考書みたいなものです。齋藤孝の「使える！『徒然草』」という本です。この本で私の考え方はガラリと変わりました。“やるべきことはやろうと思ったらすぐ行動する”私はこれを読むまでギリギリまでやらずにいた人間でした。さらにやるまでにすごく時間がかかっていました。けれどこの本にやろうと思ったらとりあえず体を動かし始めるといいということが書いてあったため実践してみるとすごくやる気になりました。こういった本も要旨要約します。悪い習慣や自分の考え方が変わり要旨要約の力がつくなんて一石三鳥くらいありますね。この塾では勉強だけでなくこういった力もつけさせてくれます●マイ先生からの VOICE■

□ ~石川塾の塾生の要旨要約掲載~

題:坂口安吾「風と光と二十の私と」

一文要約:先生が牛乳屋の落第生に「善いことも悪いことも自分一人でやるんだ」と叱った話。

本文抜粋:牛乳屋の落第生におどかさされて、有力者の子供が文房具屋で店先の鉛筆を盗んだのである。鉛筆の代金は払っておいてやるから心配するなと云うと、有力者の子供は喜んで帰って行った。牛乳屋の落第生はひどくマメマメしく働きだすのである。私が彼のほうへ歩いていくと、彼はにわかにならな後じさりして「先生、叱っちゃ、いや」「ああ、叱らない」「かんべんしてくれる」「かんべんしてやる。自分一人でやれ善いことも悪いことも」●ケイタロウ君(小4)の要旨要約■齋藤孝『理想の国語の教科書』青版より

題: ~勝とうと思ふな、負けないうにしろ~ 「徒然草 第一百段」

小見出し:博才とは大勝する才能ではない

本文要約:兼好は、勝負事の極意は、勝とうとするのではなく、負けないうにすることだと、こうしている。ビジネスも勝負事と同様、勝とうとばかりしていても、常に勝てるわけではない。それどころか、大負けしたり、負け続けかねない。あるいは、途中まで優勢であっても、最後は結果的に負けていることになる。だからまず負けないうにすることが大事であるというのだ。博才とは、大勝ちする才能ではない。負けないう打ち方ができることである。

小見出し:負けを計算できる

本文要約:私も子どもの頃から将棋がすきで、よく指した。私の場合、性格的に攻撃的なので、どうしても攻めて攻めまくるというほうだった。私の将棋は、勝とうとばかりしていたわけである。だから兼好のいうことがよりいっそうよくわかる。最初から負け試合を計算して勝負するわけである。

小見出し:勝っているときは、やり方を変えない

本文要約:兼好は、やはり博打の話をしている第二百二十六段でこうしている。つまり、負けているときには勝負を一度やめて、頭に上っている血を冷ませというわけである。逆に勝っている場合は、その流れにのったほうがいい。波というのは、その人の実力だけではなく、いろいろな複合的な要素の集積で、自分だけで作り出すことはできない。流れが自分にきたと思ったときに、思い切って泳ぐ。

小見出し:下支えをつくっておく

本文要約:仕事というのも勝負かんが必要である。どうしたら勝てるかということばかりではなく、負けた時の対応法こそが重要なのだ。勝負どころをわきまえて、出るときには出る、引くときには引くというタイミングこそ重要である。

第一百段:勝たんと打つべからず。負けじと打つべきなり。 [意味] 勝とうと思って打つてはいけない。負けまいと打つことだ。●ソウシ君(小5)の要旨要約■齋藤孝「使える！『徒然草』」より

題:小林秀雄「人形」

一文要約:老夫人が食堂車で死んだ息子とおぼしき人形に食事を与えていた席に同席した若い娘が一瞬にして悲しみを悟る話。

本文抜粋:或る時、大阪行き食堂車で遅い晩飯を食べていた。老人夫婦が腰をおろした。細君は小脇に何かを抱えて袖の蔭から現れたのは大きな人形であった。人形は息子に違いない。一人息子は戦争で死んだのであろうか。妻はスープを一匙すくっては、まず人形の口に持って行き、自分の口に入れる。そこへ、大学生かと思われる娘さんが私の隣に来て座った。彼女は一目で事を悟り、不思議な会食に、素直に順応したようであった。細君は、全く正気なのかも知れない。周囲の浅はかな好奇心とずい分戦わねばならなかった。それほど彼女の悲しみは深いのか。●ミハヤさん(小6)の要旨要約■齋藤孝『理想の国語の教科書』青版より

□冬休みワークショップ①『自分の人体解剖図』(心臓・肺臓)を描いてみよう!! 12/26 実施報告

◆12/26 に開催した冬休みワークショップ。参加者は子ども7名、大人2名の計9名でした。お友達同士で来てくれたり、親子で参加してくれたり顔見知りの方が多かったこともあって、和気あいあい楽しくワークショップが出来ました。はじめに簡単な胸部の臓器の説明をして作業に取り掛かりました。自分の体の形をフリーハンドで描いたり、見本の型を写したり、各々こだわりを持って真剣に取り組んでいました。時間も考えて、見本をコピーしたものを切り抜いて張り付けて色を塗る作業が主になりました。どうしても書いてみたいと最後まで模写した生徒もいましたが、その日も姿勢もとても真剣でした。時間内に終わらなかった方が多かった点は、今回の反省点で、次の開催までに内容を練り直ししていきますのでぜひ今回参加できなかった塾生も…**塾生以外のどなたでも、参加できます**…次回の参加お待ちしております。では…ワークショップの実施風景をご覧ください!

●ミツキ先生からの VOICE■

□冬休みワークショップ◆12/26「自分の人体解剖図を描こう」に参加して

◆近頃言われるように人生が100年とすれば、もう約半分を過ぎてしまった自分。目につく顔のシミシワのみならず加齢による不調にさいなまれ、医者に行きレントゲン写真を見るも「これが私の体なの?」と何だかピンと来ず。そもそも自分の体の中って見えないし、手で触ることもできない。モヤッとするなあ。そんな時現れた石川塾の年末目玉企画「自分の人体解剖図を描く」。自分のって、どうやって?切り開く?まさか!ちょっと怖い。でももし体の中を自分で描いてみたら、よりリアルに自分の体を感じることができのかもしれない…。



いざ、子どもの手をひっぱりワークショップに参加した。そして結論からいうと、参加して良かった!講師は元看護師の方で石川塾の先生でもある。

◆まず胸部の機能や重要性についてレジメ説明。次にあらかじめ講師のご主人の上半身の型をとり、内臓などの絵を5パターン準備してある。生徒達はそれぞれ模造紙を折って人体胸部が真ん中で観音開きができるようにした後、絵を自分で上から写したり、切り張りをしたり、色を塗って順番に中に重ねていく。まず皮膚の下には筋肉→肋骨→肺→心臓→胃の順番。ふむふむ。私は最初に肋骨の絵を紙に写して描いてみた。10本の大きな骨と2本の小さな骨がぐるりと背骨と前の胸骨との間を取り囲んでいる。描いてみると今まで思っていた肋骨のイメージよりは本数が多く一本一本は細く感じた。この鎧のようなものが盾となり生死をつかさどる大事な内臓を守っているのか、と手を動かしながら感じる。描くことで立体のイメージも湧いてくる。首のコリはこの筋肉なのだな、とか肺はかなり大きく後ろにある心臓はこぶしサイズなど。

◆わが子は一年生。真剣に肋骨と筋肉を写し取って色塗りでタイムアップ。感想を聞くと、肋骨を描いているのが一番楽しかったと。作業メインで切り張り、塗りも楽しく子どもも大人も集中して取り組んだ年末充実の2時間。自分の胸部のイメージが頭の中に作られ「描いてみる」ことの意味を感じた。惜しむらくは講師の方に最近ポンコツの体についてご教示いただきたかったが、それはまた次の話。残りは家で仕上げよう。第二弾の企画も楽しみにしている ●コウタロウ君(小1)のお母さんからの VOICE■

□冬休みワークショップ◆2018/12/26 息子が「自分の人体解剖図を描こう」に参加して

◆息子は体の構造、前々から疑問に思っていたあばら骨のある理由など、ミツキ先生に説明をして頂いたことを得意気に「あばら骨は大事な臓器を守るためにあるんだよ。」と私に話をしてくれました。人間の体の構造だけではなく動物の体にも興味を持ったようでした。「次は脳のこととかを教えてもらいたいな。ミツキ先生とまた内臓の話をしたい」と言っております。親や図鑑からでは知ることの出来ない内容を教えて頂き感謝しております ●ケイタロウ君(小4)のお母さんからの VOICE■

□春休みミツキ先生のワークショップ 2019年3月26日(火) 27日(水) 1回2時間(10:00~12:00)

□夏休みミツキ先生のワークショップ 2019年7月23日(火) 24日(水) 25日(木) 時間上に同じ

2019年8月27日(火) 28日(水) 29日(木) 1回2時間(10:00~12:00)

★小学1年生~6年生・中学生・高校生そして大人も参加できます(TEL:042-710-5768)

□ミツキ先生の2歳からの幼児教室 ~生徒募集中!~

★幼稚園受験、小学校受験、2児の子育て、看護師の経験を活かした就学前に身につけるべき「生活」「運動」「社会性」「ことば」「巧緻性」「知能」そして発達段階を踏まえた学習を提供いたします。

保護者の方のご希望をお聞きしながら学習計画を一緒に考えていきます。

★まずは3回無料体験を!!(TEL:042-710-5768)

★2歳~ あいさつ お仕度 絵本の読み聞かせ 数を正しく数える 数を正しく操る 指示を聞き取り実行する パズルを構成できる 積み木を見本通りに組み立てる 仲間分けを理解する クレオンの使い方 のりの使い方 ハサミの使い方 想像を形にする工作 インタビューに答える 記憶ゲーム 音読暗唱 ひらがな すうじ うんぴつ など一人一人に合わせたカリキュラムを保護者の方と希望立案していきます。

★小学校受験 現在受験塾に通塾されている方…苦手克服のお手伝い致します。受験は多くの場合お母さまに負担がかかります。その負担を少しでも軽く…親子で楽しく学習に取り組めるようにお手伝いいたします。

勉強は楽しく!頑張ることが好きになれるように!お手伝いいたします。是非、ご相談ください!!

<<2歳から大人まで 読み書き算数 石川塾 からのVOICE>>

ロトウタ先生の公立中高一貫校受験対策 ～今春開講！小学3年生から募集中～

東京・神奈川の公立中高一貫校志望者に対応する授業を開講しますので御相談ください(予約受付中)

ロトウタ先生の理科社会 ～今春開講！中学受験生(小5・6)・高校受験生(中2・3)～

主に中学入試問題の理科社会/都立高校入試問題の理科社会ほかを丁寧にわかりやすく教えます

ロマイ先生の数学1・数学A ～今春開講！新高校1年生ほか大学生・社会人募集中～

町田市内高校生の定期テスト対策/教科書・ワークほか演習問題/大学生ほか数1・Aを教えます

ロマイ先生の都立高校入試問題(数学・英語・国語)対策 ～中学生・高校受験生～

町田市内の中学へ通い都立高校へ進学希望する生徒の定期テスト対策及び入試問題の演習解説

ロトモミ先生の会いに行くスマホ通信学習塾 ～高校生・大学受験生・大人～

スマホによる通信学習で高校の数学理科英語を教えます/(オプション)メルマガ通信&会いに行きます

ロ石川塾長の国語力(読む・書く・生きる力)をつける授業 ～幼稚園生から大人まで～

保護者の方のご希望をお聞きしながら学習計画を一緒に考えていきます。だれにも「暗記力」「計算力」「作図力」「ノート力」「作文力」をつけ「自ら学習する力」「将来を切り開く力」をつけていきます

□2019年度/漢字検定/文章検定/ロ石川塾でロ受験日を決める！ロ練習する！ロ合格する！

[漢字能力検定](漢検)

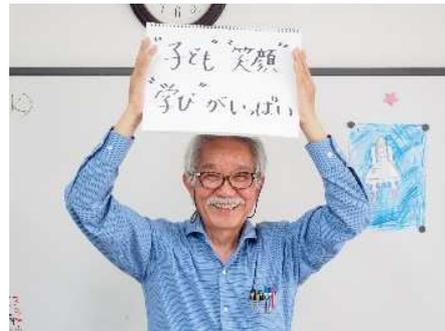
- 1) 2019年□6/29(土)ロ受付・会場ロ石川塾
- 2) 2019年□8/21(水)ロ受付・会場ロ石川塾
- 3) 2019年□10/26(土)ロ受付・会場ロ石川塾
- 4) 2020年□2/8(土)ロ受付・会場ロ石川塾

[文章読解・作成能力検定](文章検)

- 1) 2019年□8/29(木)ロ受付・会場ロ石川塾
- 2) 2020年□2/15(土)ロ受付・会場ロ石川塾

※[文章検](試験内容)基礎力(語彙・文法)/読解力(資料分析・文章構成)/作成力(通信文・論説文)

※[文章検](級)4級(漢検4級程度)/3級(漢検3級程度)/準2級(漢検準2級程度)/2級(漢検2級程度)



□塾の遠足♪4/14:片瀬江/島駅集合9:00…江ノ島洞窟巡り～七里ヶ浜～稲村ヶ崎～長谷～銭洗弁財天～北鎌倉駅

♪5/19:逗子駅集合9:00…葉山御用邸～一色海岸～森戸神社～鐙摺港～逗子披露山～小坪～材木座海岸～鎌倉駅

●わが子と歩む/わが子と遊ぶ/わが子の歩み/わが子に学ぶ/鎌倉逗子葉山だれもしらない土の道を歩く/塾の遠足はほぼ毎月/家族友だち知人どなたでも参加できます/2歳からの読み書き算数塾・大人のための石川ゼミ/本がいつばいの教室/夢中な本/午前・午後・夜間いつでもお越しください/お友だちの写真はホームページでご覧になれます■「千の声ボイス」検索■

□はじまり(脱いだ五足の靴のお母さん方と)

●読み書き算数塾・石川ゼミに親子で入塾し、石川剛先生から勉強だけでなく、子育てのヒントやからだを作ることなど多岐に渡る教を頂戴しております。石川塾長を慕い集まってくくださった私を含め5名のお母さまとともに石川ゼミで出会った沢山のVOICEを発信したいと思立ち上がりました。この千の声を手に取ってくださった方のお役に立てていただければ幸いです●編集長・渡邊光樹からのVOICE■

□ホームページの「new 体験学習ガイド」欄にミツキ先生が毎週「weekly・monthly」を書いています

□石川塾長に「ききたい」「たずねたい」「参加したい」(いつでもなんでも気軽にコール/☎042-710-5768)

●久美堂書店・本店のみなさんありがとうございます●投稿された皆さん原稿を引続きお願いします●絵:kumi

●編集兼発行人・石川剛からのVOICE■昨年は堀文字子/小倉遊亀の絵を観/ミッシェル・マイスキーのチェロを聴き心動いた

□<2019年春号「千の声VOICE」第4号>平成30年3月25日発行■HP「千の声ボイス」にバックナンバー掲載■

■〒194-0021 町田市中町1-30-8 菅井町田ビル2F/町高通り・税務署近く・コンビニ前■